

令和 4 年度 指定管理者自己評価表

【別紙 5】

施設名：林業総合センター 木根館

指定管理者名：大阪府森林組合

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	S	S
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	S	S
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	S	S
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	S	S
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	S	S
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	S	S
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	B	B
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	S	S
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	S	S
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	S	S
	修繕は適切か。	A	A
	備品の管理は適切か。	S	S
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	S	S
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	S	S
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	S	S
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	S	S
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	S	S
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	A	A
	現金は適正に取扱われているか。	S	S
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	A	A
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	S	S
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	A	A
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	A	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	S	S
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	600,000	504,000	96,000	382,200	
	自主事業収入	4,600,000	4,101,838	498,162	3,927,667	
	物品販売収入			0		
	手数料収入			0		
	指定管理料	10,770,000	10,770,000	0	10,869,476	
	その他収入		213	-213	109	
	収入総額	15,970,000	15,376,051	593,949	15,179,452	
支出	人件費	9,306,000	9,354,905	-48,905	9,575,666	
	事務費	3,267,000	2,416,684	850,316	2,586,910	
	管理費	420,200	800,605	-380,405	323,514	
	自主事業経費	2,200,000	1,574,212	625,788	1,606,354	
	光熱水費	550,000	1,192,468	-642,468	1,040,847	
	リース料	36,300	33,660	2,640	33,660	
	その他			0		
	支出総額	15,779,500	15,372,534	406,966	15,166,951	0
収支差額	190,500	3,517	186,983	12,501	0	

3. 総合評価

自己評価

新型コロナウイルスの感染者増加に伴う外出自粛等が、ゴールデンウィークや夏休みの時期に要請されていたため、木工体験の利用者数は伸び悩んだ。また、ワークショップの定員も半数にした状況であったため、積極的な広報活動を行いにくい状況であった。しかしながら、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いている時期は、小学校の遠足利用なども復活してきた。

施設面においては、市工事により多目的トイレの設置が完了し、子育て世代や施設福祉の利用受け入れがしやすくなった。また、おおさか河内材の利用方法の提案をかねて、展示スペースのリフォームを行い好評を得ている。

新型コロナウイルスの感染拡大等による不安定要素が続いた1年であったが、市やスタッフ間の連絡を密にとり、適切な対応を行うことができたと考える。

市評価

令和4年度は新型コロナウイルスワクチン接種率が高まり、ウィズコロナの社会環境の中での施設運営となった。ウィズコロナにおいて来館者数を増やしていく施設運営をする必要があり、様々なイベントや魅力ある「おおさか河内材」普及に取り組まれたと評価する。来年度以降も新たな取り組みを行い、新型コロナウイルス感染拡大前の来館者数に戻るよう効果的な施設運営をなされたい。